

警察署協議会会議録

飯塚警察署協議会

開催年月日時	令和6年7月16日 午後3時50分 から 令和6年7月16日 午後5時30分 まで		
開催場所	飯塚警察署署長室		
出席者	警察署協議会	会長以下6名	
	警察署	署長、副署長、会計管理官、地域管理官、刑事管理官、警備管理官、総務課長、会計課長、生活安全課長、刑事第一課長、刑事第二課長、地域第一課長、交通課長、署付、事務局（15名）	
議 事 概 要			
【会長挨拶（要旨）】 ○ 本日は、飯塚警察署協議会委員の皆様、飯塚警察署の皆様には大変お忙しい中、多数御参加いただき、感謝申し上げます。 梅雨時期ではあるが、暑い日が続いているため、熱中症対策には十分注意して管内の治安維持に努めていただきたい。 【署長挨拶（要旨）】 ○ 本日はお忙しい中、御出席いただきお礼申し上げます。 ○ 皆様におかれましては、平素から警察活動の各般にわたり、多大なご協力とご支援を賜っておりますことを、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。 ○ 昨日、飯塚山笠の追い山で審査員を務め、山の昇ぎ手の勇壮な姿に力づけられ、町中も大いに盛り上がったと思う。 山笠期間中、大きな事故もなく、また、追い山当日は、			

議 事 概 要

山笠に関する警察への通報もなく、無事に終えることができ、地域社会の結束力を感じた。

- 昨年の秋から、SNS型投資・ロマンス詐欺による被害が急増している。

詐欺の手口は、社会情勢の変化に応じて、巧妙化・悪質化が進んでおり、被害予防に向けた取組は急務である。

そのほか、体感治安を悪化させる、自転車盗などの街頭犯罪や交通事故、飲酒運転は後を絶たない状況である。

これらの事件・事故の抑止には、警察だけの力だけでは限りがあり、地域住民をはじめ、関係機関・団体の協力が不可欠である。

- 今後とも、関係機関・団体との連携・協力の充実を図り、地域の安全・安心のために、最大限の努力をしていく所存である。

【報告事項】

警察署からの報告事項

1 福岡県警察発足70周年のお知らせ（署長）

2 令和6年上半期の管内の治安情勢及び警察署の取組について

【質疑応答】

- 会長から、「県警で相次ぐ不祥事に対し、公表できるもの、公表できないものの違い」についての質疑に対し、副署長から、「警察職員の不祥事、いわゆる非違事

議 事 概 要

案の公表については、全国的に統一されている。警察官の非違事案を発表する基準にあつては大きく3点あり、

1点目は、職務執行上の行為及びこれに関連する行為に係る懲戒処分となる。つまり、業務上の非違事案については、免職、停職、減給、戒告に当たるものが、発表事案になる。

2点目は、私的な行為に係る行為で、懲戒処分のうち停職以上である免職、停職に該当する行為が発表案件となる。

3点目は、行為の態様、行為の公務内外に及ぼす影響、職員の職責等を勘案し、国民の信頼を確保するために発表することが適当であると認められる懲戒処分となっている。」

旨の回答があつた。

【飯塚警察署の業務運営に対する意見要望】

- 委員から、「自転車のヘルメットの着用率が高くなっているように感じるため、今後も継続してヘルメット着用を促していただきたい。」、「自転車の乗車マナーについて、スマートフォン使用、イヤホン着用、逆走などが見受けられ危険であるため、各交差点での取締りを強化していただきたい。」との要望を受け、交通課長から、「特に、通学等での利用者が多い高校生の自転車ヘルメット着用に関し、県警を挙げて取り組んでおり、現在、『リーダーズグランプリ』と称した生徒主導の着用率向上のための施策を推進しているところである。全般的な

議 事 概 要

自転車マナーの向上については、『交通指導取締り』『交通安全教育』『交通規制等交通環境の整備』の3つを柱に進めているところであるが、中でも即効性が期待される『交通指導取締り』については、当署でも強化しているところであり、警告書を中心とした指導取締りを積極的に推進している。」旨の回答があった。

○ 委員から、「これから子ども達が長期休暇を迎えるにあたり、車の運転手に対する取締りの強化と子ども達への交通ルールなどの指導教養を行っていただきたい。」との要望を受け、交通課長から、「子どもの交通事故防止については現在実施されている『夏の交通安全県民運動』でも運動の重点として掲げられている。夏休み中に子ども達が交通事故に遭わないようドライバーに対する取締りと子どもへの交通安全教育を進めているところであり、参加、体験型の交通安全教育を推進し、痛ましい子どもの事故を1件でも減らすべく尽力しているところである。」旨の回答があった。

○ 副会長から、「8月1日開催予定の飯塚花火大会について、雑踏対策など、暑い中大変であると思うが、各種事故のないようにお願いしたい。また、熱中症対策にも十分注意されたい。」との意見を受け、警備管理官から、「飯塚花火大会には、約10万人の見物客が見込まれており、主催者や関係機関と連携し、雑踏事故等がないよう諸対策に万全を期すこととしている。」旨の回答があった。